

会長就任のご挨拶

2026年5月26日



(一社) 日本伸銅協会 会長 加藤和照

(三井住友金属鉱山伸銅株式会社 代表取締役社長)

この度、会員各社のご推挙により、日本伸銅協会の会長に就任することとなりました三井住友金属鉱山伸銅の加藤でございます。

本協会は、皆様のご支援により今日の発展をみておりますこと、心より厚く御礼申し上げます。その礎のもと、伸銅協会に関わる皆さまと「ファミリー」を築き、共に歩み、より発展して参りたいと思っておりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

さて、米国による関税政策に加え、中東情勢の緊迫化など、国際情勢は一段と不確実性を増しております。エネルギー価格や物流コストの上昇、サプライチェーンへの影響など、我が国経済への波及も広がっております。加えて、資源・エネルギー価格の変動や地政学リスクの高まりは、非鉄金属産業を取り巻く事業環境にも大きな影響を

及ぼしております。

一方で、GX、DXの進展やAI関連投資の拡大などを背景として、電力、半導体、通信、自動車分野における高機能材料への期待はますます高まっております。伸銅品は、我が国ものづくり産業を支える重要な基礎素材として、その役割が一層重要になっているものと認識しております。

このような環境下におきまして、当業界といたしましては、安定供給の確保、技術力・品質力のさらなる向上、環境対応への取り組みを進めながら、我が国産業の発展に貢献してまいりたいと考えております。林副会長、高倉副会長と共に、会員各位との連携を一層深め、業界の健全な発展に向けて諸課題に取り組んでまいり所存でございますので、引き続き皆様方のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

さて、2025年度における我が国経済を振り返りますと、賃上げの継続から個人消費が回復基調を維持しているほか、省力化・脱炭素対応・生成AI活用のための関連機器需要・データセンターの新規建設等の持続的な投資需要と国内生産拠点強化のための設備投資が増加し、賃上げと投資が牽引する「成長型経済」への移行が緩やかに進んでいるように見られますが、一方で中東情勢の緊迫による海外経済活動の混乱を受けて輸出が伸び悩むといったマイナス面も併存しており、十分な回復には至っていません。

そのような環境の下、私ども伸銅業につきましては、自動車や半導体向けの比較的堅調な需要の継続、住宅着工の停滞と人手不足による建築・建設での工期遅延やキャンセルなどの悪影響は依然として好転には至らない状況が続いております。

この結果、伸銅品生産量は66万8千トンで対前年度比+4.2%となり、2024年度を着実に上回りましたが、2019年度のコロナ直前期

の 73 万 7 千トンには▲9.4%とようやく 2 桁減を脱した状態に至りました。

品種別に見ますと、「板条製品」に関しましては、自動車分野が 1 年前の認証不正問題による国内減産から脱却し、北米地区での高需要に牽引され、世界的な完成車販売回復から一定量の回復を維持しました。また、半導体分野は、夏以降には中国での情報・生活家電の長期不振から回復傾向を示し、データセンターや AI 搭載機器の需要が加わって高位を維持しながら現在に至っています。

「黄銅棒」につきましては、新規住宅着工の低迷長期化と物件の工期遅延が重なったことから、住宅設備機器向け需要分野では目立った回復が見られませんでした。また「銅管」につきましても、ルームエアコン需要は、夏の猛暑と冬場の低温からエアコン販売は昨年度下期から高位が続いており、規格変更による駆け込み需要も加わりますが、パッケージエアコンは、時短や人手不足問題による物件の工期遅延や計画キャンセルなどから十分に回復していない状況です。

しかし、今年は北米市場がけん引する自動車需要や、データセンターや AI 搭載機の高需要がけん引する半導体は、好調を維持するとみられます。一方、建築建設関係では、決して市況は改善しておりませんが、サプライチェーンでの在庫が適正化してきたと推察し生産量は確保されています。これらを踏まえ、2026 年度は低成長ながら対前年比で 1.2%のプラス成長を見込んでいますが、冒頭にも触れました通り、中東情勢の緊迫化、ロシアによるウクライナ侵略の長期化、更には米国における関税政策がどの程度影響するのか、大変危惧されるところです。

このような状況下、日本伸銅協会では、今年度も会員企業の事業活動に有益となる事業を行います。特に、伸銅品のグリーンブランド創設に向けた検討を始めると共に、未利用の銅リサイクル材料の活用

に向けた技術的検討、工場の安定操業に資する設備保全の情報共有や労働安全衛生活動の活性化に注力していきたいと考えています。

また、「伸銅品」を知っていただく活動を継続し、伸銅品に興味を持っていただくこと、伸銅品に携わる皆さまが、その手ごたえから誇らしく感じていただける、そういった機会を継続していきたいと思っています。

その他、エネルギー・電気料金、人件費や原料対策など取引適正化につながる会員企業の事業環境改善に資する案件にも引き続き取り組んでまいります。

そして、日本伸銅協会として積極的に情報収集・発信を行っていくとともに、必要な場合には、政府への申し入れを行うことも検討していきたいと思っています。

こうしてみますと、我々伸銅業には足元の問題と共に、中期的な課題も多く、それらに一つ一つ取り組んでゆかねばなりません。

引き続き厳しい環境下ではありますが、会員相互の信頼関係を大切にしつつ、伸銅業界の社会的役割を果たしてまいります。

伸銅ファミリーとして、業界を盛り上げ、伸銅ユーザーの信頼感を高め、伸銅に携わる方の誇らしさを醸成していきたいと思っています。

関係各位のご指導とご支援をお願い申し上げます。私の就任の挨拶とさせていただきます。